

## 都市ガス事業

### 都市ガス事業者

都市ガス事業者は全国に212事業者(2008年4月1日時点)が点在しています。この業界の特性から、全国8ブロック(北海道・東北・関東中央・東海北陸・近畿・中国・四国・九州)に(社)日本ガス協会の「地方部会」が設置され、地方独自の活動も含めたさまざまな事業を行っています。

(社)日本ガス協会 中国部会・四国部会に所属する14事業者では、協力体制のもと、都市ガスの普及拡大に向けた取り組みを推進しています。

(社)日本ガス協会  
都市ガス事業の健全な発展を図るとともに、産業の振興と文化の進展に寄与することを目的とする都市ガス事業者の団体。

### 都市ガスの原料

都市ガスの原料には、LNG(液化天然ガス)と国産天然ガスの天然ガス系原料と、LPG(液化石油ガス)などの石油系原料があります。現在では都市ガスの原料構成の9割以上が天然ガス系となっています。天然ガスは世界各地に豊富に存在し、可採年数は約60年と言われ、中東地域以外からも確保が可能なエネルギーです。わが国の都市ガス事業者は、主に環太平洋諸国から長期契約に基づいてLNGを輸入し、安定供給に努

めています。

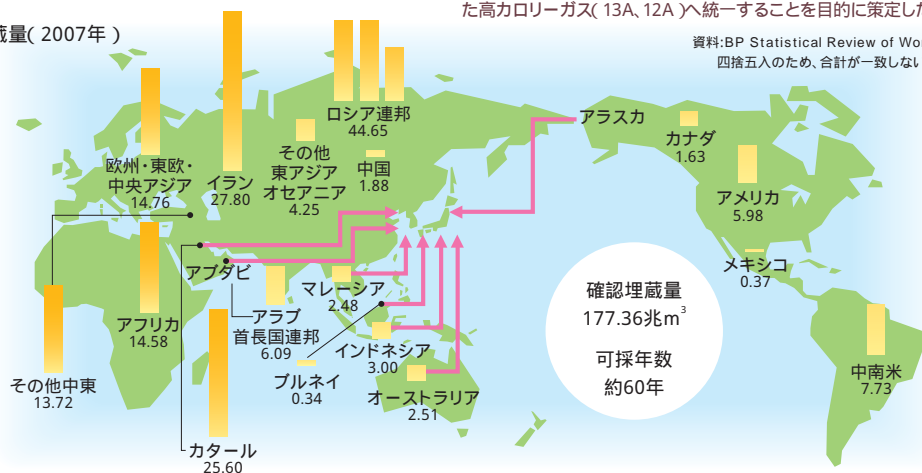
また、国の基幹エネルギーとして天然ガスの一層の普及が求められ、「IGF21計画」により全国的に高カロリーガスへの統合が進められています。

IGF21計画

1990年1月に通商産業省(現経済産業省)資源エネルギー庁から提案された「INTEGRATED GAS FAMILY 21計画」を受けて、日本ガス協会および日本ガス石油機器工業会が、2010年を目途に、都市ガスを天然ガスを中心とした高カロリーガス(13A、12A)へ統一することを目的に策定した計画。

資料:BP Statistical Review of World Energy 2008  
四捨五入のため、合計が一致しない場合があります。

天然ガス確認埋蔵量(2007年)  
(単位:兆m<sup>3</sup>)



### 中国・四国地区における天然ガス転換

P.38

天然ガスなどへの高カロリーガスへの熱量変更作業は、IGF21計画に基づき、全国各地で進められています。当社は2002年4月に天然ガス転換を終了しましたが、引き続き、中国・四国地区では熱量変更完了をめざし、事業者間で連携して取り組んでいます。また、当社は連結子会社の瀬戸内パイプライン(株)の設備を活用し、2007年1月から福山瓦斯(株)へ卸供給を開始。自社のみならず、他地域での天然ガスの普及促進にも取り組んでいます。



### 中国・四国地区の都市ガス販売量

中国・四国地区のガス販売量が、全国に占める割合は約3%ですが、工業用需要の拡大により年々増加しています。また、当社の2007年度のガス販売量は全国ガス事業者の中では7番目、中国・四国地区ではトップで約44%を占めています。

過去10年間の中国・四国地区のガス販売量の推移  
広島ガスにおける卸供給等は含まない。

